

「考えてみよう！わたしたちの身近な会話から」

①あるカップルの会話

男「昨日電話したのに、なんですぐに出ないんだよ！」

女「ごめんね、仕事が忙しかったの」

男「いいからスマホ貸せよ！あ～あ、俺とは電話できないのに、他の男とは連絡とってるんだ。俺と付き合ってるんだから、他の男の連絡先なんていらぬよな、全部消してやる！もう俺を怒らせるなよ」

女「ごめんなさい・・・(仕事の関係で電話していただけなのに。大切な友達の連絡先も全部消されちゃった)」

【Point】一方的に言うことを聞かせようとする関係になっていませんか？(デートDV)

②ある親子の会話

弟「ほら見て！あの子赤いランドセルを買ってもらってるよ」

兄「男だったら、普通黒とか青を買うよね？」

母「人それぞれ好きな色があるから、何色でもいいのよ」

【Point】何気なく、「男だから」「女だから」と考えていませんか？(性別による固定的なイメージ)

皆さんは、この2つの会話をどう考えましたか？

誰もが住みやすいまちを目指すためには、男女が互いを尊重し合い、性別にとらわれずに個性と能力を伸ばしていける環境をつくるのが大切です。市で作成した2つのリーフレットをぜひお手にとっていただき、ご自身のまわりの男女平等やパートナーとの関係について考えるヒントにしてください。

『大切にしていますか？あなたとパートナーのこころとからだ』(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ デートDV)

『表現ガイド』(男女共同参画の視点で考える表現)

※リーフレットは、市ホームページからダウンロードできるほか、それいゆぷらざ(女性センター)でも配布しています。

(次回は7月号に掲載します。)

